

検証結果概要

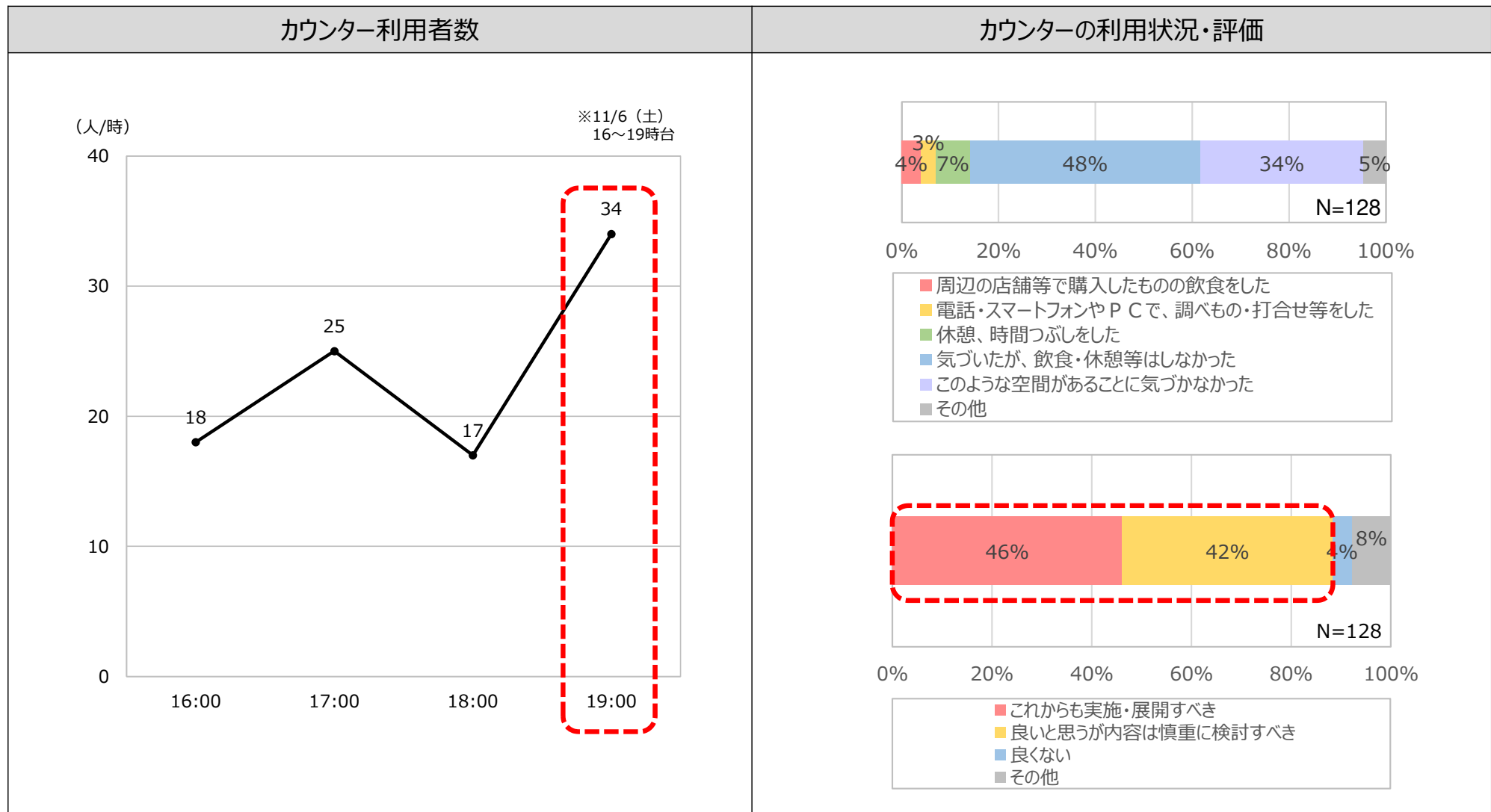
ホテル日航大阪前

ホテル日航大阪前での取り組み

i) 多目的カウンターの効果・必要性

- ・カウンターの存在に気付かなかった人も多いが、休日午後では20～30名/時程度の滞在が見られた
- ・主に休憩などの目的で利用され、今後も実施すべきと評価する割合が大きい

▼カウンターの利用状況

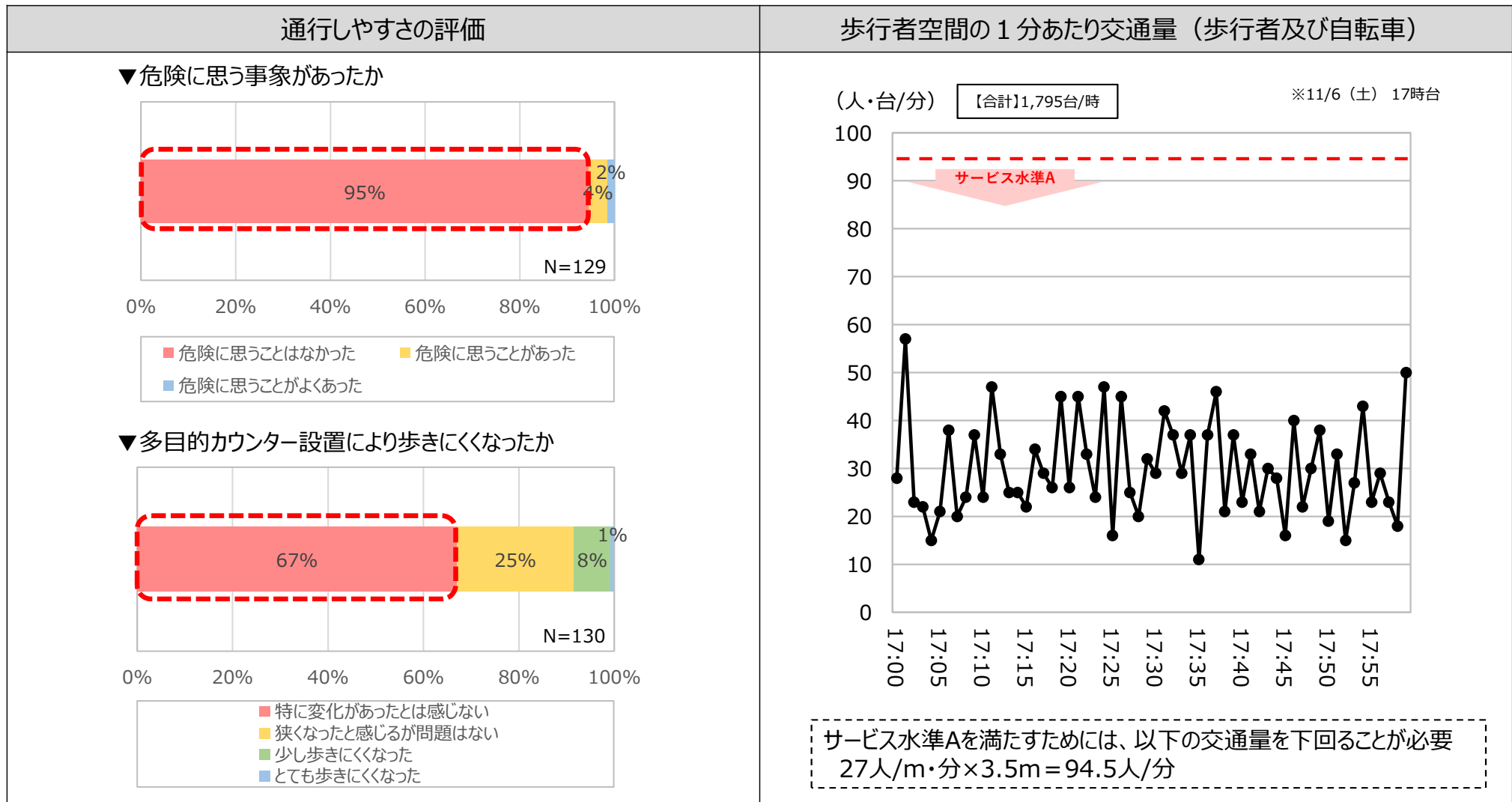


ホテル日航大阪前での取り組み

ii) 整備による副作用

- ・取り組みにより安全性、通行しやすさが悪化したという意見はほとんどみられなかった
- ・ピーク時には1,800人・台／時の交通量があるが、サービス水準Aを満たしている

▼期間中の歩行者・自転車交通量推移（モデル区間）

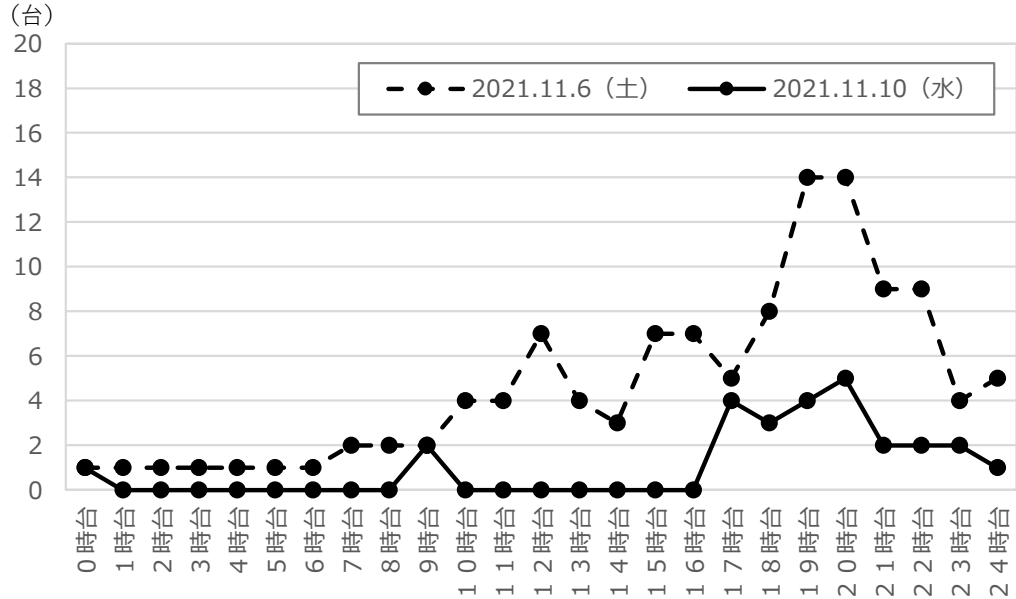


ホテル日航大阪前での取り組み

ii) 整備による副作用

- ・放置自転車は休日で最大14台見られるが、5台程度の時間が多く、平日では0台の時間も多い
- ・取り組みより、きれいに使いたい・路上駐輪をしないようにしたい等の意識変化も見られた

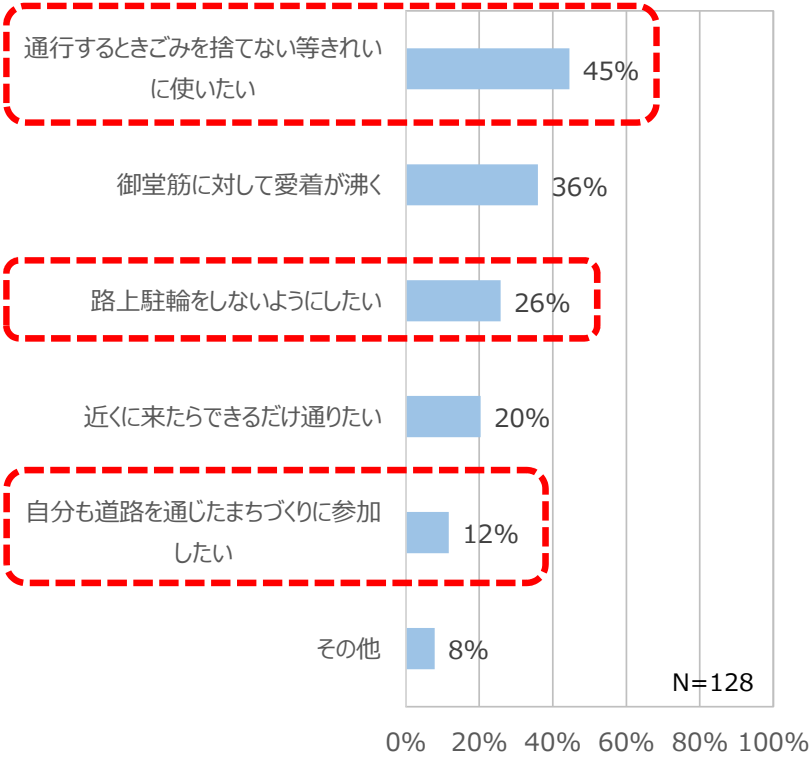
▼周辺箇所での放置自転車状況



<11.6 (土) 19時台の状況>



▼取り組みによる意識の変化 (アンケート)



①道路の将来形と持続的な管理形態の検証

まとめ

検証目的	各項目の結果		今後の方向性
	観点	結果	
・ベンチ配置、歩車分離など沿道の将来形を定める	i) ベンチの効果・必要性	・気付かなかった人も多いが、休日午後では<u>20～30名/時程度の滞在</u>が見られた ・購入したものの飲食、休憩などの目的で利用され、<u>今後も実施すべきと評価</u>されている	⇒一定の滞在促進ができ、実施していくべきとの意見が確認できた ⇒モデル整備区間、2期整備区間の取り組みも踏まえ、十分な幅員を確保しながらカウンター等の設置を検討していく
	ii) 整備による副作用	・今回の取り組みでは安全性、通行しやすさの低下などの<u>大きな問題はなかった</u> ・放置自転車は、5台程度の時間が多く、平日では0台の時間も多い ・取り組みより、<u>きれいに使いたい・路上駐輪をしないようにしたい等の意識変化</u>がみられる	⇒周辺エリアも含めた放置自転車等への対応について、適切な方法を検討していく